

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
数学・数学 I	普通科 1 年	3	改訂版 新編 数学 I (数研出版)	改訂版 教科書傍用 3 RAIAL 数学 I + A(数研出版) 改訂版 チャート式解法と演習数学 I + A(数研出版)
科目の概要 と目標	<p>○式の展開や因数分解を行い、式を目的に応じて変形でき、見通しをもって式を扱うことができる。</p> <p>○関数の考え方を理解し、数量の変化をグラフに表現することの有用性を認識する。</p> <p>○直角三角形の三角比を理解し、それを鈍角にまで拡張する意義を捉える。</p>			
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1	第 1 章 数と式 第 1 節 式の計算	整式の加法と減法 整式の乗法 因数分解	○因数分解の基本を理解し、たすきがけの因数分解ができる ○やや複雑な式の展開や因数分解ができる	
	第 2 節 実数	実数 根号を含む式の計算	○有理数・無理数等の用語がわかる ○数直線および実数の絶対値について理解する ○根号を含む式の計算や分母の有理化ができる	
	第 3 節 1 次不等式	不等式の性質 1 次不等式 絶対値を含む方程式・不等式	○不等式の性質を理解し、数の大章関係を不等式で表わすことができる ○1 次不等式が解ける ○絶対値を含む方程式・不等式が解ける	
	第 2 章 集合と命題	集合 命題と条件 命題とその逆・対偶・裏 命題と証明	○集合の意味と表わし方・記号・用語を理解する ○命題と条件の違いを明確にする ○命題の逆・対偶・裏およびそれらの関係について理解する	
	第 3 章 2 次関数 第 1 節 2 次関数とグラフ	関数とグラフ 2 次関数のグラフ	○関数の定義がわかる ○「上に凸、下に凸」の表現ができ、頂点を求めグラフが描ける	
	第 2 節 2 次関数の値の変化	2 次関数の最大・最小 2 次関数の決定	○グラフを用いて最大値・最小値を求められる ○いろいろな条件の 2 次関数を求められる	
2	第 3 節 2 次方程式と 2 次不等式	2 次方程式 2 次関数のグラフと x 軸の関係 2 次不等式	○2 次方程式を解くことができる ○グラフと x 軸の位置関係を理解する ○グラフを用いて 2 次不等式が解ける	
	第 4 章 図形と計量 第 1 節 三角比	三角比 三角比の相互関係 三角比の拡張	○三角比の定義を理解し、その値を求められる ○三角比の相互関係を用いて問題が解ける ○座標による三角比の定義を理解し、鈍角の三角比を求めることができる	
	第 2 節 三角形への応用	正弦定理 余弦定理 正弦定理と余弦定理の 応用 三角形の面積 空間図形への応用	○角や辺の表し方を理解し、正弦定理・余弦定理を導く ○定理を利用して三角形を解くことができる ○三角比を用いて面積を求めることができる ○三角比を利用して、空間図形における線分の長さや角の大きさ等の計算ができる	
	第 5 章 データの分析	データの整理 データの代表値 データの散らばりと四分位数 分散と標準偏差 データの相関	○データを整理する必要性を理解する ○データの代表値の意味を理解し、それらの計算方法や特徴がわかる ○散らばりの度合いを示す量の意味と計算方法を習得する	

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
数学・数学 I	普通科 体育コース 1年	3	改訂版 新編 数学 I (数研出版)	改訂版 教科書傍用 3 RAIAL 数学 I + A(数研出版) 改訂版 チャート式解法と演習数学 I + A(数研出版)
科目の概要 と目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○整式に関する事項の理解を深め、応用力を身につける。</li> <li>○集合を用いる意味を理解し、適切に使えるようになる。</li> <li>○2次関数のグラフが描けるようになる。</li> <li>○2次方程式、2次不等式が解けるようになる。</li> <li>○三角比の定義や性質を理解し、図形の計量に応用できるようになる。</li> <li>○資料を適切に整理し、活用できるようになる。</li> </ul>			
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1	1章 数と式 1節 式の計算	整式 整式の加法・減法・乗法 因数分解	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単項式、次数、係数、多項式、項、整式など、式についての用語を理解する</li> <li>○ 公式を正しく用いるようにする</li> <li>○ 1つの文字に着目して整理することに習熟する</li> </ul>	
	2節 実数 3節 1次不等式	実数 平方根を含む式の計算 不等式の性質 1次不等式 1次不等式的应用	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 実数が数直線上の点と1対1に対応していることを理解する</li> <li>○ 平方根を含む式の計算や分母の有理化ができる</li> <li>○ 数の大小関係を不等式で表わすことができる</li> <li>○ 1次不等式をとくことができ、それを身のまわりの事象に応用することができる</li> </ul>	
	2章 集合と論理 1節 集合 2節 命題と論証	集合 命題と条件 論証	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 集合の意味と表わし方・記号・用語等を理解する</li> <li>○ 命題と条件の違いが明確にわかる</li> <li>○ 必要条件・十分条件について理解する</li> <li>○ 命題の逆と対偶の関係について理解する</li> </ul>	
	3章 2次関数 1節 2次関数とそのグラフ	関数 2次関数 2次関数の最大・最小 2次関数の決定	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 関数の概念がわかる</li> <li>○ 2次関数のグラフを描くことができる</li> <li>○ 2次関数の最大値・最小値を求めることができる</li> <li>○ グラフについての条件から、その条件を満たす2次関数を決定することができる</li> </ul>	
2	2節 2次方程式と2次不等式	2次方程式 2次関数のグラフとx軸の共有点 2次不等式	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 2次方程式を解くことができる</li> <li>○ 2次関数のグラフとx軸との共有点が2次方程式の解であることを理解する</li> <li>○ 2次不等式が解けるようになる</li> </ul>	
	4章 図形と計量 1節 鋭角の三角比	2次不等式的应用 直角三角形と三角比 直角三角形の辺と角 三角比の相互関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 2次不等式を具体的な事象の考察に応用できる</li> <li>○ 三角比の意味を理解し、直角三角形の辺と角との関係がわかる</li> <li>○ 三角比の相互の基本的関係を理解する</li> </ul>	
	2節 三角比の拡張	三角比と座標 三角比の性質	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 鈍角に拡張して三角比を求めることができる</li> <li>○ 三角比の相互の基本的関係を応用できる</li> </ul>	
	3節 三角形への応用	正弦定理 余弦定理 三角形の面積 空間図形の計量	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 正弦定理、余弦定理を使って角、辺の値を求めることができる</li> <li>○ 三角比を空間図形の計量に活用できる</li> </ul>	
3	5章 データの分析 1節 データの整理と分析	データの整理 データの代表値 データの散らばり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ データを整理する必要性を理解する</li> <li>○ データの代表値の意味を理解し、それらの計算方法と特徴を理解する</li> <li>○ 散らばりの度合いを示す量の意味と計算方法がわかる</li> </ul>	
	2節 データの相関	相関 相関関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 散布図の意味がわかる</li> <li>○ 相関係数の意味がわかる</li> </ul>	
	課題研究		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各自の設定した課題について、調査し考察できる</li> </ul>	

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
数学・数学 I	工業科1年 商業科1年	3	数学 I Standard(東京書籍)	Standard Buddy WRITE 数学 I(東京書籍)
科目の概要と目標	<p>○整式に関する事項の理解を深め、応用力を身につける。</p> <p>○集合を用いる意味を理解し、適切に使えるようになる。</p> <p>○2次関数のグラフが描けるようになる。</p> <p>○2次方程式、2次不等式が解けるようになる。</p> <p>○三角比の定義や性質を理解し、図形の計量に応用できるようになる。</p> <p>○資料を適切に整理し、活用できるようになる。</p>			
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1	1章 数と式 1節 式の計算	整式 整式の加法・減法・乗法 因数分解	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単項式、次数、係数、多項式、項、整式など、式についての用語を理解する</li> <li>○ 公式を正しく用いるようにする</li> <li>○ 1つの文字に着目して整理することに習熟する</li> </ul>	
	2節 実数 3節 1次不等式	実数 平方根を含む式の計算 不等式の性質 1次不等式 1次不等式的应用	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 実数が数直線上の点と1対1に対応していることを理解する</li> <li>○ 平方根を含む式の計算や分母の有理化ができる</li> <li>○ 数の大小関係を不等式で表わすことができる</li> <li>○ 1次不等式をとくことができ、それを身のまわりの事象に応用することができる</li> </ul>	
	2章 集合と論理 1節 集合 2節 命題と論証	集合 命題と条件 論証	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 集合の意味と表わし方・記号・用語等を理解する</li> <li>○ 命題と条件の違いが明確にわかる</li> <li>○ 必要条件・十分条件について理解する</li> <li>○ 命題の逆と対偶の関係について理解する</li> </ul>	
	3章 2次関数 1節 2次関数とそのグラフ	関数 2次関数 2次関数の最大・最小 2次関数の決定	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 関数の概念がわかる</li> <li>○ 2次関数のグラフを描くことができる</li> <li>○ 2次関数の最大値・最小値を求めることができる</li> <li>○ グラフについての条件から、その条件を満たす2次関数を決定することができる</li> </ul>	
	2節 2次方程式と2次不等式	2次方程式 2次関数のグラフとx軸の共有点 2次不等式	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 2次方程式を解くことができる</li> <li>○ 2次関数のグラフとx軸との共有点が2次方程式の解であることを理解する</li> <li>○ 2次不等式が解けるようになる</li> </ul>	
2	4章 図形と計量 1節 鋭角の三角比	2次不等式的应用 直角三角形と三角比 直角三角形の辺と角 三角比の相互関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 2次不等式を具体的な事象の考察に応用できる</li> <li>○ 三角比の意味を理解し、直角三角形の辺と角との関係がわかる</li> <li>○ 三角比の相互の基本的関係を理解する</li> </ul>	
	2節 三角比の拡張	三角比と座標 三角比の性質	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 鈍角に拡張して三角比を求めることができる</li> <li>○ 三角比の相互の基本的関係を応用できる</li> </ul>	
	3節 三角形への応用	正弦定理 余弦定理 三角形の面積 空間図形の計量	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 正弦定理、余弦定理を使って角、辺の値を求めることができる</li> <li>○ 三角比を空間図形の計量に活用できる</li> </ul>	
	5章 データの分析 1節 データの整理と分析	データの整理 データの代表値 データの散らばり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ データを整理する必要性を理解する</li> <li>○ データの代表値の意味を理解し、それらの計算方法と特徴を理解する</li> <li>○ 散らばりの度合いを示す量の意味と計算方法がわかる</li> </ul>	
3	2節 データの相関	相関 相関関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 散布図の意味がわかる</li> <li>○ 相関係数の意味がわかる</li> </ul>	
	課題研究		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各自の設定した課題について、調査し考察できる</li> </ul>	

